

## 謹賀新年

新春のお喜びを申し上げます。  
本年も（公財）宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団を  
よろしく願いいたします。

Vol.151

令和4年度1月号

### 伊豆沼・内沼自然体験講座開催

昨年から新たに始まった自然体験講座のメニューは、早朝の伊豆沼でマガンの飛立ちを観察した後、地元食材を使った暖かい朝食を取って一息。続いて南三陸町に移動し、「海のビジターセンター」でコクガンを観察。最後に震災復興公園、311メモリアル、さんさん商店街を巡りました。大変好評な自然体験講座も1月15日(4回目)が今年度最後の開催となります。

ツアー開始です

日の出前のこんなシーンも

感動！

地元食材の温かい朝食です

海のビジターセンターで観察会

全員で記念撮影

コクガン見えましたー！

近くで見えることも…

さんさん商店街隣にオープンしたばかりの「311メモリアル」



# 大学との共同研究をしています



モニタリング機器の通信試験



機器の試験状況

11月15日～17日に東京大学生物生産研究所との共同研究で、沼のモニタリング調査を行いました。調査は、モニタリング機器(写真上段)で、沼の様子をリアルタイムに確認するものです。まだ研究段階ですが、環境保全の現場でも情報通信技術の活用が進んでいくものと思われます。



ドローンの飛行準備



ドローンの映像

12月6日～9日に酪農学園大学の小川先生のチームがドローンによるマガンの調査を行いました。(写真下段)

ドローンでマガンのねぐらを撮影し、画像から個体数を把握することで、調査労力の省力化を目指すものです。

マガンに影響しないよう撮影した他、目視調査も同時に行い、今後、個体数の精査を行う予定となっています。

## たくさんの学校の皆さんが訪れています

**新田小学校** 11月29日に新田小4年18名を対象とした出前講座を実施しました。最初に昆虫館そばの砂浜で、カモやハクチョウを観察したあと、近くの農地でマガンを観察しました。なぜ伊豆沼に多くの渡り鳥が来るのか、鳥の食べ物が豊富なことや安全なねぐらがあることなどについて、現場で解説を行いました。

**鶯沢小学校** 12月14日に鶯沢小3年24名が当センターを訪れました。伊豆沼の自然や鳥の体の作りなどを説明した後、館内見学。みなさん一生懸命ノートをとっていました。後の質問コーナーでは、伊豆沼の環境を良くするため、どのような活動をしていいかなど、良い質問がたくさん出ました。

**佐沼高等学校** 12月7日に佐沼高校1年生の4名が、レポート作成のため当センターを訪れました。外来種防除や希少魚の復元がレポートのテーマ、博士号を持つ研究員が館内を案内したり、さまざまな質問に丁寧に答えていました。

引続き科学的に生態系を学ぶ場として、当センターが発展できるよう努めてまいります。



鶯沢小学校の皆さん



佐沼高校の皆さん

## 「第28回伊豆沼・内沼絵画展」を開催しています

当センター1階ホールにて「第28回伊豆沼・内沼絵画展」が開催されています。絵画展には、伊豆沼・内沼の美しさが巧みに表現された作品36点が出展されていますので、どうぞお楽しみください。

【期間】 令和4年12月20日(火)～令和5年1月21日(土)  
午前9時～午後4時30分(最終日は12時00分まで)

【会場】 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター1階ホール

左の絵は、白鳥豊子さん(栗原市築館)の作品「家族の語らい」です。

